



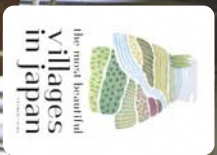
広報

# ま っ ぎ き

2022

6

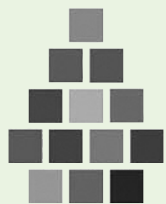
No.697



## 総合計画ワークショップ (5/11、5/18)

令和5年度から10年間のまちづくりの指針となる第6次総合計画策定のためのワークショップを開催しました。多くの皆さんが参加して、まちの将来像などについて意見交換を行いました。

# 2030松崎プロジェクト



子どもたちと住み続けるまちを共につくる

×

新しい観光の可能性を追求する



少子高齢化や気候変動、新型コロナウイルス感染症の影響など、自然や社会環境は近年大きく変化しています。その中で、町がこれからどのような未来を歩んでいくかを考えていくために発足したのが、2030松崎プロジェクトです。松崎町・静岡大学・松崎町観光協会・伊豆半島ジオガイド協会の4者による※包括連携協定のもと、みんなで町の望ましい未来を考えていきます。

地域と大学の連携による新しい挑戦として、「子どもたちと住み続けるまちを共につくる」、「新しい観光の可能性を追求する」という2つの新しい挑戦を通して、次世代の声に耳を傾け、次世代とともに描く2030年の町に向かって実践していこうというプロジェクトです。

松崎町の未来のために、ぜひご参加ください。

## ※包括連携協定

令和2年11月、松崎町・静岡大学・松崎町観光協会・伊豆半島ジオガイド協会の4者で、包括連携協定を締結しました。

## 協定内容

- ◇観光地としての地域ビジョンづくりに関すること
- ◇SDGs達成への貢献に関すること
- ◇教育および観光におけるデジタル技術活用に関すること など

## 2030松崎ゴールズ

プロジェクトがスタートした令和2年12月から令和3年5月にかけて、中学生による次世代ワークショップ、中高生と大人が混じった松崎ワークショップを計7回行い、2030年の松崎町を思い描いた2030松崎ゴールズ1・0が完成しました（3ページ参照）。

## 次世代ワークショップ

多くの中学生・高校生が松崎の未来について、「対話」による意見交換を行いました。ワークショップで出た意見をまとめ、「2030松崎ゴールズ松高版」を完成させました。



▲次世代ワークショップ

## 松崎ワークショップ

中学生による「2030松崎ゴールズ松高版」について、大人を交えて対話し、「2030松崎ゴールズ1・0」が完成しました。また、完成した13のゴールに向かって実践していく9つのプロジェクトチームが発足しました。

## チーム活動

令和3年5月以降、発足したプロジェクトチームは、それぞれで自分たちに何ができるか対話し、実践してきました。一部ですがチームの活動を紹介します。

## チーム6 伝統の魅力

「伝統の魅力が広く共有され、「祭り」などが継承されている」ことをゴールとして活動しているチームです。大人だけでなく、高校生など学生メンバーが多いことが特徴です。

令和3年度の活動は、ま



▲松崎ワークショップ

ず、松崎町にどんな伝統があるのか調べ、保存するためにどんな取り組みができるのかを考えました。また、伝統の保存活動として、なまこ壁の清掃活動を行いました。



▲チーム6 なまこ壁清掃の様子

今後は、なまこ壁清掃を継続して行い、清掃だけでなく、実際のなまこ壁の補修などに関わりたいと考えています。また、町の祭りについて調査し、秋祭りへの参加も検討しています。松崎の伝統はかけがえない町の魅力です。一緒に地域の伝統を考え、守り、さらに魅力を育て、生かし

ていきたいと思えます。

**チーム7 農と漁・猟**

「のう（農）とりよう（漁・

猟）の活動が受け継がれ、食べ物が新鮮でおいしい」ことをゴールとして活動しているチームです。

ゴールを達成するために、まず情報を収集し、桜田の耕作放棄地を借りることができました。実際に作物を育てている方の所へ視察に行き、ゼロから畑を耕していくという活動を行っています。収穫された野菜は、実際に桜田より道売店で販売されました。



▲チーム7 耕作放棄地の活用

今後、現在の活動を継続しつつ、農業だけでなく、漁業、猟の情報も集めていきたいと考えています。

**チーム活動発表会**

令和3年11月と令和4年3月には、チーム活動の発表会が行われました。それぞれのチームでの活動内容、課題、今後の取り組みなどを共有しました。

**プロジェクトのこれから**

これまでのチーム活動を踏まえ、令和4年度では、ゴールの確認・見直し、チームの再編など、新たなスタートを切ります。町の持続可能な発展のためには、町の将来の事をみんなが自分事とし、活動していくことが必要です。ぜひ、2030松崎プロジェクトにご参加ください。

**【問合せ】**

企画観光課（42）3964

**2030 松崎ゴールS 1.0**



新しい観光の可能性	1	松崎の自然・安らぎ・体験の <b>オンリーワン</b> が育ち、何度でも来たくなる「中毒性」のあるまちになっている。
	2	「ささる」観光を <b>多様な世代がプロデュース</b> し、多様な発信とPRを展開している。
	3	<b>エコ・ツーリズムとサステナブル・ツーリズム</b> が実現している。
	4	<b>地域の交通ネットワークと都市との相互アクセス</b> が整備されている。
松崎のよさを 守る	5	<b>地域の資源・資産</b> のユニークな価値が発見され、活用されている。
	6	伝統の魅力が広く共有され、「 <b>祭り</b> 」などが継承されている。
	7	<b>のう（農）とりよう（漁・猟）</b> の活動が受け継がれ、 <b>食べ物</b> が新鮮でおいしい。
	8	地区・世代を超えた <b>人間関係</b> が守られている。
すべての世代が活躍できる	9	<b>子育て</b> をしやすいまちである。
	10	多様な選択肢のなかから、 <b>やりがいのある仕事</b> に就ける。
	11	都会的な <b>飲食・買い物</b> も楽しめる。
共有し 学び合う	12	<b>高齢者</b> になっても <b>活躍</b> できるまちである。
	13	<b>三余塾</b> の伝統が受け継がれ、市民たちの <b>学び合いの場</b> がある。

# 令和4年度「松崎の教育」が目指すもの

文部科学省では、全国どこでも同じ水準で教育が受けられるようにするため、学習指導要領を定めています。令和2年度は小学校で、令和3年度は中学校で学習指導要領が新しいものに変わりました。

静岡県に目を向けると、令和4年3月に、教育の基本理念や重点取組方針を示した「ふじのくに『有徳の人』づくり大綱」と「静岡県教育振興基本計画」が策定されました。そこに新型コロナウイルス感染症への対応や、ICT端末の普及などの社会の変化による影響も加わり、教育界は大きな変革を求められています。松崎町ではこのような流れを受けつつ、今まで大切にしてきた教育の源流を土台にして、本年度も「松崎の教育」を進めていきます。

松崎町の教育目標「心に残る教育の充実を図り、未来を担う心豊かな人を育む」の実現に向けた幼稚園、小学校、中学校と教育委員会、の4つの力点を紹介します。このことを共通理解し、教育活動を進めます。

## 今年度の力点

### 1. 子ども理解を基本とする支援

コロナ禍の生活が続き新たな生活様式が当たり前になっていますが、子どもたちへの影響は、いつ、どんな形で表れるのか予測困難な現状です。さまざまな課題を抱える子どもの変容を捉え、迅速で的確な支援につなげるため、教育委員会を中心に組織で対応します。

### 2. ICT機器の有効活用

これまでの授業実践に加え、これからの時代に求められる資質・能力が身に付くようICT機器の有効活用を図ります。

### 3. 学校安全総合支援事業の充実

文部科学省指定の本事業に継続して取り組みます。訓練の継続による防災知識の蓄積、防災道徳の実践による主体性の向上といったこれまでの成果を、子どもたちから家庭や地域に発信することを通して、いざというときに力を発揮する児童生徒の育成を目指します。

### 4. キャリア教育の充実（2030松崎プロジェクトとの連携）

自分や町の将来を考えることから、キャリア教育の充実を図ります。プロジェクトとの連携を含め、地域の大人と関わることで自分の意見を伝える、人の意見を聞く「対話」を充実させ、将来の松崎を担う人材育成を目指します。

「十年一昔」という言葉がありますが、今の変化の流れは1年でも遠い昔の話になるぐらいです。本年度の力点について、教職員の連携と協働から生み出される「創造」により、未来を見据えた学習ができるよう取り組んでいきます。2030プロジェクトの学習のように、「対話」を充実させ、教職員間、学校と教育委員会、地域間の連携と創造により、各種の学習活動や取り組みを進めていきます。さらに、松崎ならではの教育の源流である「松崎町幼小中教職員のクレド」と「二十一世紀松崎町三つの実践運動」という土台を忘れず、日々の教育活動を行っていきます。子どもたちへの教育は、まさに「未来への種まき」です。町民の皆様方には、松崎の教育に対してご理解いただき、今まで同様、ご支援ご協力をお願いいたします。

### 松崎町幼・小・中のクレド

- 私たちは、子どもの思いを誠実に受けとめ、努力し伸びようとする子どもたちを育みます。
- 私たちは、信頼され応援していただける園・学校づくりを目指します。
- 私たち教職員は、お互いのよさを発揮し、協働して、松崎の教育を高めていきます。



▶二十一世紀松崎町三つの実践運動

【問合せ】

教育委員会(42)3971

# 松崎高校広報く西豆と共にく (連携型中高一貫教育)

## 57人が新入学

57人の令和4年度入学生を迎え、4月8日に行われた入学式は、昨年と同様、新型コロナウイルス感染症へのさまざまな対策を施し、席と席との間隔を広く取り、マスクを着用して行いました。



新入生を代表し、松崎中学校出身の秋葉陽海さんが「壁にぶつかることがあっても、友人や家族、先生方とともに乗り越え、磨き合いたい、自分たちの将来のためにたくましく成長していきたいです」と高校生活への希望と決意を述べ、宣誓を行いました。ここから3年間の高校生活がスタートします。一人一人が勉強に、部活動に取り組み、互いに切磋琢磨していくことを決意する機会となりました。

### 西豆学講話(1年生)

4月14日、松崎町長 深澤準弥様を講師としてお迎えし、西豆学講話を行いました。「西豆学」はさまざまな体験活動を通して地域を学び、生徒自身が課題を

見つけ、自らの将来を考えていく学習活動です。生徒たちは西豆地域の現状と課題を学ぶと同時に、困難な課題があるからこそ、チャレンジもチャンスも生まれてくるといってお話を伺い、自らの高校生活と重ね合わせて考えを深めていました。



### 【問合せ】

松崎高校 (42) 0131

## 令和3年度 大学等合格実績及び就職先 (令和4年3月卒業生)

### 《大学》

(国公立大学)

静岡大学、秋田県立大学、青森県立保健大学、長野大学

(私立大学)

日本大学、東洋大学、駒澤大学、明治学院大学、東海大学、神奈川大学、国土館大学、常葉大学、日本社会事業大学、聖隷クリストファー大学、桜美林大学、山梨学院大学、文教大学 など

### 《専修学校・専門学校》

静岡医療センター附属静岡看護学校、日本医科学大学校、積善会看護専門学校、横浜栄養専門学校、桑沢デザイン研究所、日本電子専門学校、横浜こども専門学校 など

### 《就職(公務員を含む)》

海上保安学校、松崎町役場、西伊豆町役場、自衛隊、三島信用金庫、日本郵便(株)東海支社、下田プリンスホテル など

# 6月は土砂災害防止月間です

6月は、国土交通省が定める「土砂災害防止月間」です。近年、異常気象など

## ■警戒レベルをチェック

による豪雨が各地で発生し、土砂災害によって大きな被害が出ています。これから梅雨や台風の季節となりますが、いつ起こるか分からない土砂災害から命を守るためには、早め早めに防災情報を得ることが大切です。

## ■危険箇所をチェック

土砂災害によって、生命や身体に危害を生じる恐れがあると判断された場所は、土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域などに指定されています。ハザードマップなどを活用して、災害が起これやすい場所や身近な危険箇所を確認しておきましょう。

水害や土砂災害による被害が発生する恐れがある場合、下記の「警戒レベル」を用いて、避難のタイミングをお伝えします。町からは、レベル3〜5の情報を、防災行政無線や町ホームページなどを通じてお知らせします。避難の情報が発令された場合は、安全な場所へ避難するようにしましょう。

## ■避難所での感染対策

梅雨の時期を迎え、大雨や台風による避難所の開設が予想されます。避難所では、マスクの着用などの基本的な感染症対策の徹底をお願いします。

また、感染リスクを避けるために、親族や知人の家などへの避難も検討してください。

警戒レベル	取るべき行動	避難情報	気象情報
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保	大雨特別警報
4	危険な場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨・洪水警報
2	自らの避難行動を確認	—	大雨・洪水注意報
1	災害への心構えを高める	—	早期注意情報

【問合せ】  
総務課（42）3963

## 児童手当制度の一部が改正されます

令和4年6月から児童手当制度の一部が改正されます。主な改正点は次のとおりです。

### ■現況届の原則廃止

毎年6月中に求めていた現況届の提出が原則不要となります。

ただし、次の①〜③に当てはまる受給者は、現況届などの提出が必要です。

- ①離婚協議中で配偶者と別居している方
- ②配偶者からの暴力などにより、住民票を松崎町以外の市区町村に置き、松崎町から児童手当を受給している方
- ③その他、松崎町から提出の案内があった方

※右の条件に該当する方へは町から通知します。現況届の提出がない場合は、手当を受給できませんのでご注意ください。

### ■所得上限限度額の新設

前年中の所得が左表の所得上限限度額以上の場合、児童手当などが支給されなくなります。

扶養親族などの数	所得上限限度額	
	所得額(万円)	収入額の目安(万円)
0人	858	1,071
1人	896	1,124
2人	934	1,162
3人	972	1,200
4人	1,010	1,238
5人	1,048	1,276

※その他、詳細は町ホームページをご覧ください。

【問合せ】  
健康福祉課（42）3966

●長期間にわたる避難所での生活を回避 ●避難所での感染リスクを回避

## 地震発生後も、住み慣れた自宅で生活を！

昭和56年5月31日以前に建てられた旧耐震基準の木造住宅にお住まいの方

- ⇒専門家による無料の耐震診断  
を受けられます！
- ⇒耐震補強工事には補助制度  
を活用できます！

無料の診断は  
令和6年度で  
終了です！

【補助額】 一般世帯：最大115万円  
高齢者のみ世帯など：最大135万円  
※詳細は下記までお問い合わせ  
ください。



## プロジェクト **TOUKAI** [東海倒壊] -0 今すぐ、耐震化しましょう！

【問合せ】 産業建設課 (42)3965

## 暮らしなんでも相談

日常生活で起こるトラブルや悩みごと、困ったこと（心の悩み、消費生活、住まい、生きがい、介護、法律など）、どこに相談すれば良いか分からないときの相談窓口です。悩みごとと一緒に考え、専門的なアドバイス先をご案内します。

なお、相談・取次ぎは無料ですが、専門家に相談する場合は別途料金がかかることがあります。

《たとえばこんなお悩みの方》

—生活相談—  
消費生活、  
不動産、環境、  
墓・葬儀、子育て、  
福祉・介護、  
法律関係など

—人間関係の相談—  
家庭内や  
近所つきあい、  
会社などでの  
人間関係の悩み

—生活保障・設計相談—  
融資・生活資金、  
クレサラ、税金、  
医療・保険・補償、  
生活困窮など

【相談受付ダイヤル】 ライフサポートセンター東部事務所 055(922)3715  
受付時間 平日 9時～17時



## 桜葉みその焼きおにぎり

### －ここがポイント－

- 地場産品の“桜葉”を使ったレシピ
- 桜葉みそを活用したレシピ



### －作り方－

- ① 桜葉を15分程度水につけて塩抜きし、固い葉脈をとって葉を荒みじんに刻み、すり鉢でよくする。
- ② ①に調味料Aを順に入れながら、よくすり合わせる。
- ③ おにぎり（1個100g）をフライパンで軽く焼き、焼き色がついたら②の桜葉みそ小さじ1/2強を片面に塗る。

### －材料（4人前）－

- ・ ご飯…………… 400g
  - ・ 桜葉漬けMサイズ……………20枚
- 調味料A
- ・ 白みそ……………大さじ3
  - ・ 赤みそ……………大さじ1
  - ・ 砂糖…………… 大さじ1と1/2

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
160kcal	2.5g	0.4g	34.9g	0.3g

【問合せ】 健康福祉課（42）3966

## 町長コラム 第6回

### まちづくりのデザイン

松崎町長 深澤 準弥

松崎町では、松崎中学校、松崎高校の生徒をはじめとした町民の方々と静岡大学とともに、2030松崎プロジェクトを立ち上げ、ワークショップ等を開催しております。総合計画の策定と並行して、いくつかのプロジェクトが住民主体のまちづくり活動として動き出しています。

少子高齢化の加速に伴う人口減少による過疎化は、全国の地方で進んでおり地域の持続可能性に不安が生じております。日本全体の人口が減少に転じてから不安は増大しており、この不安を払拭すべく、

松崎町では、松崎中学校、松崎高校の生徒をはじめとした町民の方々と静岡大学とともに、2030松崎プロジェクトを立ち上げ、ワークショップ等を開催しております。総合計画の策定と並行して、いくつかのプロジェクトが住民主体のまちづくり活動として動き出しています。

少子高齢化の加速に伴う人口減少による過疎化は、全国の地方で進んでおり地域の持続可能性に不安が生じております。日本全体の人口が減少に転じてから不安は増大しており、この不安を払拭すべく、

10年後の松崎町のあるべき姿を決めて、そこに向かって今何をすべきかといったことを対話を通じて探り、行動につなげているところです。人口減少社会の中、かつてないスピードで進む少子高齢化社会に対応し、故郷（ふるさと）を持続可能な社会として引き継ぐために、新しい町のデザインが必要でです。新型コロナウイルス感染症により急激にスピードが速まったデジタル化にも、誰一人取り残されることのないように、新しい松崎を皆さまとともに創ってまいります。



# My Town Topics ～まちのできごと～

## 石部ひじき狩り



4月19日、石部地区では春の風物詩ひじきの収穫が行われました。

地元の漁協組合員約40人が参加し、潮が引いた磯場で鎌を使って、素早くひじきを狩り取りました。

今年のひじきの大きさは40％ほどで例年に比べると短く、総重量も昨年の4760kgの半分ほどとなる1961kgでした。

## みどりの少年団入団式

4月23日、みどりの少年団が伊那下神社から牛原山へ登り、入団式を開催しました。

13人が入団し、団員は「活動を通じて、花とロマンの里のふるさとを愛し、自然やものを大切に、活動を最後までやり遂げます」と誓いの言葉を述べました。

入団式後には、つばきの小道での植樹やマックスバリュ松崎店で緑の募金活動を行いました。



## 田んぼをつかった花畑「無料花摘み」「花かんむり製作体験」



5月1日から5日まで、田んぼをつかった花畑で「無料花摘み」と「花かんむり製作体験」が行われ、大勢の家族連れで賑わいました。

「花かんむり製作体験」に参加した方たちは、自分のつくりたい花かんむりをイメージしながら自分の好きな色の花を摘み、講師の大谷さんに指導を受けながら、一人一人オリジナルの花かんむりを完成させました。

## 稚鮎の放流体験

5月17日、旧依田邸前の那賀川で、聖和保育園の5歳児13人が稚鮎の放流を体験しました。

稚鮎は、8～12cmの大きさで、約600匹を放流しました。

子どもたちは、稚鮎の成長を願って「大きくなってね」、「元気に育ってね」と呼び掛けました。

鮎釣りの解禁は、6月1日から12月31日までです。



町の人口と世帯

(令和4年4月30日現在)  
( )内は前月比

総人口	6,052人	(-10人)
男	2,865人	(-3人)
女	3,187人	(-7人)
世帯数	2,897戸	(+1戸)
転入	19人	転出 21人
出生	1人	死亡 9人

(4月届出分)  
戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
道部	湊 斗	男	西尾 祐希

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
伏倉	鶴田 敏久	85	鶴田 松枝
石部	高橋 義一	91	高橋 梅子
北区	矢部 善子	99	矢部 芳之
道部	矢谷 慶治	95	矢谷 邦彦
野田	佐藤 つる子	74	佐藤 洋司
岩地	齊藤 和敏	88	齊藤 辰巳
金沢	菊池 きさの	91	菊池 淳
西区	山本 弘子	86	山本 公

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

令和4年4月発生分  
( )内は前年同月比

人身事故	1件	(+1)
物損事故	7件	(-3)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(+1)

ピカピカキッズ



3歳児健診で「虫歯」がなかった  
お子さんを紹介します。



山口 慧くん  
(野田)



土屋 龍希くん  
(雲見)

【問合せ】健康福祉課 (42)3966

成年年齢引下げによる  
犯罪に注意!

成年に達すると、親の同意を得なくても、自分の意志でさまざまな契約ができるようになりますが、その契約についての責任も自分で負うことになるので注意が必要です。

犯罪被害・消費者被害に  
遭わないために

- 契約に関する知識を学ぼう
- うまい話はどうのみにせず、きっぱり断ろう
- 消費者の味方になるルールを知ろう

【問合せ】下田警察署管内防犯協会  
(27)2766

松崎文芸

— 短歌 —

春さざす冬着一枚二枚ぬぐつがい白蝶

野に畑に舞う

石田 安江

窓越しに聳ゆる富士山土肥港まで大きな姿の

ままできくる

岡村 芳子

あこがれは街角ピアノで暗譜した曲を弾くこと

心の躍る

杉山 安紀子

広報まつり

二〇二二年六月一日発行  
通刊 第六九七号

〒410-1696 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一  
☎(055)421-3964 FAX(055)421-3183

発行 静岡県松崎町  
印刷 (株)山本印刷

編集 企画観光課